

株主メモ

決 算 期 11月30日

配当金受領株主確定日 株主配当金 11月30日
中間配当金 5月31日

定 時 株 主 総 会 2月中

基 準 日 11月30日（そのほか、必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めることがあります。）

公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
ただし、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第16条第3項に定める貸借対照表及び損益計算書に係る情報は当社のホームページ（<http://www.yamatointr.co.jp/ir/>）において提供しております。

名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お 問 合 せ 先 東京都江東区佐賀一丁目17番7号（〒135-8722）
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話（03）5213-5213（大代表）

同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店

上 場 証 券 取 引 所 大阪証券取引所市場第一部

第57期事業報告書

平成14年12月1日から
平成15年11月30日まで



株主の皆様方には、ますますご清
祥のこととお慶び申し上げます。

ここに、当社第57期事業報告書
(平成14年12月1日から平成15年11
月30日まで)をお届けするにあたり、
その概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、株価の回復や企業収益の改善など、景気回復に向けた明るい兆しが見られたものの、依然として個人消費は低迷し厳しい状況が続きました。

当業界におきましても、企業間競争がより一層激化するなか、冷夏などの天候不順による影響も受け、大変厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当社では「顧客起点のビジネス」と「ローコスト経営」を更に推進し、新たな需要の創造と安定した収益の確保に努めてまいりました。

販売面では、自主管理型売場の拡充に加え、商品面、運営面における精度の向上を図るなど、店頭活性化や顧客満足に向けた努力をしてまいりました。

ブランド別では、ファミリー型ブランドの「クロコダイル」が引き続き好調に推移し、「クロコダイル・レディス」とともに自主管理型売場を拡大し、売上・利益の大幅な増加に貢献いたしました。また、ブランド創立40周年キャンペーンを実施するなど、店頭及び顧客への取り組みも強化いたしました。同様に、ブランド生誕150周年を迎えた「エーグル」もキャンペーンを実施し、ブランド価値の向上に努めてまいりました。特に、レディスラインの「エーグル・ファミ」の拡充を図ったことにより、堅調な伸びを示しました。一方、卸型の販売形態を主とするメンズカジュアルブランドにおきましても、ターゲットをより明確にし、顧客ニーズに適應することによって大きく伸ばすことができました。

部門別では、「クロコダイル・レディス」や「エーグル・ファミ」が好調に推移したことによりレディス部門が大幅に伸びました。なお、不動産賃貸につきましては、自社物件の有効活用を目的に、新たに東京本社ビルの一部を賃貸契約したことに

より増収となっております。

経費面では、自主管理型売場の新規出店による諸経費や東京本社ビルなど自社物件のメンテナンス費用などが増加いたしました。業務の効率化や諸経費の見直しによりローコスト経営に注力してまいりました。

この結果、売上高は191億4千1百万円(前期比6.3%増)と増収になり、利益面では、自主管理型売場の増加に加え、プロパー消化率の向上や年度・シーズン毎の計画的販売により、売上総利益率は2.6ポイント向上し、経常利益は13億8千2百万円(前期比131.6%増)となりました。当期純利益につきましては、業績の伸長に伴い繰延税金資産を将来回収可能と判断したことにより、法人税等調整額を6億5千4百万円計上いたしましたので、18億6千6百万円となりました。

来期の展望といたしましては、景気に対する先行き不安感はい依然として続くものと思われませんが、当社といたしましては、「顧客起点のビジネス」を基本に、市場での競争力をより一層強化し、存在価値の向上を図るとともに、新たなビジネスモデルの構築に向けた取り組みも進めてまいりたいと考えております。

販売面では、店頭に重点を置き、消費者との接点をさらに拡大することで、ニーズへの的確かつ迅速な対応に努めてまいります。基幹ブランドの「クロコダイル」と「エーグル」につきましては引き続きレディスの強化と売場の拡充を推し進め、ファミリー型のブランドとして安定した成長を目指してまいります。ヤングをターゲットにしたトレンド型ブランドは変化の激しい市場に対応できる商品供給システムの構築を目指し、市場での差別化、優位性の確立を図ってまいります。

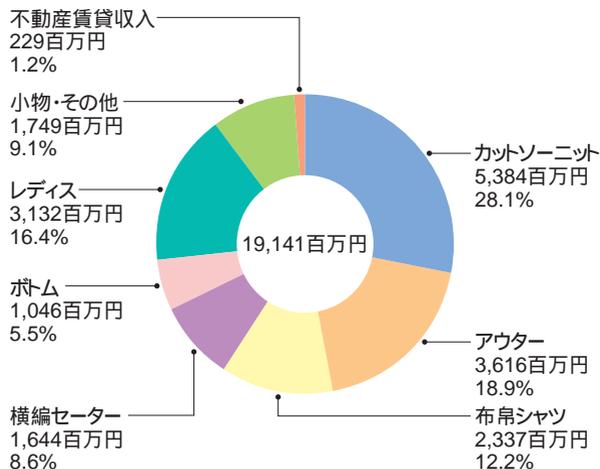
利益面では、組織・業務の合理化、借入金の返済による有利子負債の削減、在庫の圧縮と内容改善を推進することにより、更にローコスト経営を心掛ける一方、企画の精度や販売技術の向上などにより、収益性とキャッシュ・フローに注力してまいりたいと考えております。

株主の皆様方におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年2月

取締役社長
坂井 隆

（単位：千円）



業績の推移

| 区分 | 期別 | 第54期 | 第55期 | 第56期 | 第57期 |
|------------|-----|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | | （平成11年12月～平成12年11月） | （平成12年12月～平成13年11月） | （平成13年12月～平成14年11月） | （平成14年12月～平成15年11月） |
| 売上高 | 百万円 | 16,923 | 16,736 | 18,011 | 19,141 |
| 経常利益 | 百万円 | 15 | 334 | 596 | 1,382 |
| 当期純利益 | 百万円 | 13 | 46 | 10 | 1,866 |
| 発行済株式総数 | 千株 | 27,636 | 26,406 | 26,406 | 22,502 |
| 1株当たり当期純利益 | 円 | 0.47 | 1.71 | 0.41 | 79.03 |
| 1株当たり純資産 | 円 | 562.45 | 574.54 | 611.37 | 737.24 |
| 総資産 | 百万円 | 26,357 | 25,290 | 25,159 | 26,224 |

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|-----------------|--------------|-------------------|------------|
| （資産の部） | | （負債の部） | |
| 流動資産 | 10,771,284 | 流動負債 | 6,467,822 |
| 現金及び預金 | 2,141,815 | 支払手形 | 3,656,314 |
| 受取手形 | 738,456 | 買掛金 | 680,164 |
| 売掛金 | 3,491,173 | 短期借入金 | 450,000 |
| 有価証券 | 1,642,975 | 1年内返済予定長期借入金 | 346,446 |
| 製品・商品 | 2,097,489 | 未払金 | 503,654 |
| 原材料 | 4,175 | 未払法人税等 | 42,507 |
| 仕掛品 | 47,132 | 未払消費税等 | 84,399 |
| 繰延税金資産 | 144,173 | 未払費用 | 403,321 |
| その他 | 512,745 | 返品調整引当金 | 171,000 |
| 貸倒引当金 | 48,854 | その他 | 130,015 |
| 固定資産 | 15,453,321 | 固定負債 | 3,158,416 |
| 有形固定資産 | (11,515,031) | 長期借入金 | 2,402,561 |
| 建物 | 3,436,931 | 退職給付引当金 | 381,690 |
| 構築物 | 35,802 | 役員退職慰労引当金 | 104,236 |
| 機械・車両運搬具 | 3,662 | 預り保証金 | 269,929 |
| 工具器具備品 | 102,723 | 負債の部合計 | 9,626,239 |
| 土地 | 7,935,910 | （資本の部） | |
| 無形固定資産 | (42,140) | 資本金 | 4,917,652 |
| 投資その他の資産 | (3,896,149) | 資本剰余金 | 5,644,906 |
| 投資有価証券 | 1,120,826 | 資本準備金 | 1,229,413 |
| 子会社株式 | 30,000 | その他資本剰余金 | 4,415,493 |
| 子会社出資金 | 497,812 | 資本金及び資本準備金減少益 | 4,415,493 |
| 差入保証金 | 1,759,000 | 利益剰余金 | 5,844,631 |
| 繰延税金資産 | 379,717 | 任意積立金 | 2,601,440 |
| その他 | 270,711 | 配当平均積立金 | 100,000 |
| 貸倒引当金 | 161,919 | 退職積立金 | 33,000 |
| 資産の部合計 | 26,224,606 | 買換資産圧縮積立金 | 253,265 |
| | | 固定資産圧縮積立金 | 115,174 |
| | | 別途積立金 | 2,100,000 |
| | | 当期末処分利益 | 3,243,190 |
| | | 株式等評価差額金 | 191,576 |
| | | 自己株式 | 399 |
| | | 資本の部合計 | 16,598,367 |
| | | 負債及び資本の部合計 | 26,224,606 |

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | |
|-----------------|------------|------------|
| (経常損益の部) | | |
| 営業損益 | 18,911,931 | |
| 製造業・商品売上高 | 229,888 | 19,141,819 |
| 製造業・商品売上原価 | 9,882,103 | |
| 製造業・商品売上戻入 | 151,969 | |
| 返品調整引当金繰入 | 221,000 | |
| 返品調整引当金繰上 | 171,000 | |
| 返販費及び一般管理費 | 7,745,526 | 17,729,598 |
| 営業外損益 | | 1,412,220 |
| 営業外収益 | 57,315 | |
| 営業外費用 | 40,726 | 98,041 |
| 営業外費用 | 99,206 | |
| その他 | 28,558 | 127,764 |
| 経常利益 | | 1,382,497 |
| (特別損益の部) | | |
| 特別利益 | 17,662 | |
| 特別損失 | 16,100 | 33,762 |
| 固定資産売却損 | 52,096 | |
| 投資有価証券売却損 | 24,750 | |
| 投資有価証券売却益 | 2,937 | |
| 過年度役員退職慰労引当金繰入 | 82,063 | 161,847 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 42,507 | 1,254,412 |
| 法人税、住民税及び事業税の繰上 | 654,834 | 612,327 |
| 当期繰越利益 | | 1,866,739 |
| 前期繰越利益 | | 147,037 |
| 当期繰越利益 | | 1,229,413 |
| 当期繰越利益 | | 3,243,190 |

発行する株式の総数 71,977,447株
 発行済株式の総数 22,502,936株
 自己株式の取得、処分等及び保有に関する事項
 ①取得株式 2,187,654株
 ②失効手続きをした株式 3,903,553株
 ③期末保有株式 892株
 期末総株主数 4,579名
 大株主

| 株 主 名 | 持 株 数 | 議決権比率 | 当社の当該株主への出資状況 | 議決権比率 |
|---------------------------------------|---------|--------|---------------|-------|
| セネシオ有限会社 | 2,593千株 | 11.72% | 千株 | % |
| バンクオブニューヨークヨロツパ リミテッドルクセンブルグ131800 | 1,230 | 5.56 | | |
| 株式会社UFJ銀行 | 1,061 | 4.79 | | |
| 日本生命保険相互会社 | 717 | 3.24 | | |
| 日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口) | 585 | 2.64 | | |
| 資金管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口) | 429 | 1.94 | | |
| 盤 若 美 和 子 | 374 | 1.69 | | |

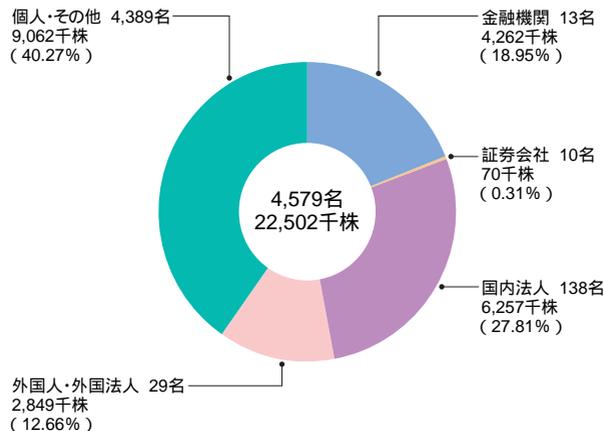
(注) 当社は株式会社UFJ銀行の持株会社 株式会社UFJホールディングスへ出資(持株数351株 0.01%)しております。

利益処分

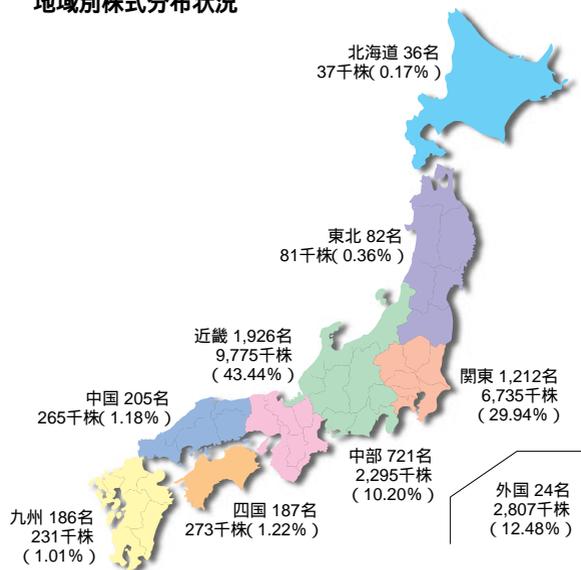
(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|------------------|---------------|---------------|
| 当期未処分利益 | | 3,243,190,317 |
| 任意積立金取崩額 | | |
| 退職積立金取崩額 | 33,000,000 | |
| 買換資産圧縮積立金取崩額 | 253,265,938 | |
| 固定資産圧縮積立金取崩額 | 115,174,979 | 401,440,917 |
| これを次のとおり処分いたします。 | | 3,644,631,234 |
| 利益処分額 | | |
| 株主配当金(1株につき5円) | 112,510,220 | |
| 役員賞与金 | 9,000,000 | |
| 配当平均積立金 | 400,000,000 | |
| 別途積立金 | 3,000,000,000 | 3,521,510,220 |
| 次期繰越利益 | | 123,121,014 |

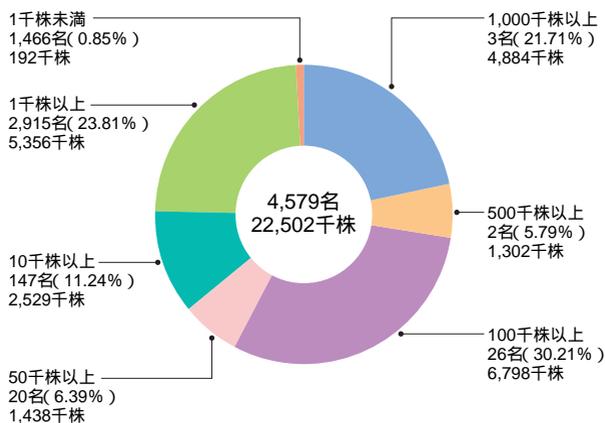
所有者別株式分布状況



地域別株式分布状況



所有株数別分布状況



株価（月間平均）の推移



各期末株価の推移

(単位: 円)

| | 平成13年度 第55期 | 平成14年度 第56期 | 平成15年度 第57期 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|
| 中間期末 (5月末) | 141 | 137 | 274 |
| 期末 (11月末) | 147 | 152 | 418 |

各期別株価 高値 / 安値

(単位: 円)

| | 平成13年度 第55期 | 平成14年度 第56期 | 平成15年度 第57期 |
|-----|----------------|----------------|----------------|
| 最高値 | 179 (10月) | 197 (8月) | 487 (10月) |
| 最低値 | 101 (1月) | 110 (12月) | 122 (12月) |

()内は当該月次を表します。
(株価は大阪証券取引所統計資料によります。)

Family

歴史と独自のブランドカラーを持つ「クロコダイル」「エーグル」に共通するコンセプトは「ファミリー」です。家族を大切に、家族と共に余暇を満喫する。「ファミリー型ブランド」は、そのようなライフスタイルに共感し、喜びを分かち合いたいと考えています。



AIGLE



Crocodile

Trend

流行へのこだわりこそがファッションの原動力です。当社の「トレンド型ブランド」は、自分流のスタイルを求める若者達と共にファッションを創造し、常に発信していきたいと考えています。



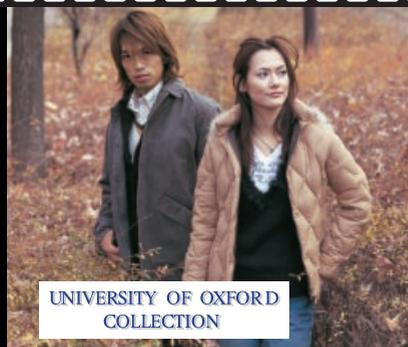
hiromichi
BY HIROMICHI NAKANO



NO CONCEPT BUT GOOD SENSE

Casual

シンプルでありながら細部に個性を感じ、しかも安心感がある服。当社の「カジュアル型ブランド」はそういった服を創造しています。程よく流行を取り入れながらもオリジナル性を失わないカジュアルウェアは、年代、性別を越えて愛されています。



UNIVERSITY OF OXFORD
COLLECTION



JEAN-COX

「エーグル」熱田店がオープン

アウトドアブランド「エーグル」の直営店を2003年6月、名古屋市のイオンモール熱田にオープンしました。ショッピングモールといった立地上、ファミリー色を強化した店作りとなっています。

・名古屋市熱田区 イオンモール1F



「ノーコンセプト・パット・グッドセンス」なんばパークス店がオープン

コンセプトに縛られない自由な発想で展開する若者向けブランド「ノーコンセプト・パット・グッドセンス」。その大阪での第1号店が話題の商業施設「なんばパークス」に2003年10月に开店しました。

・大阪市浪速区 なんばパークス1F



「クロコダイル」のコーナー展開が好調

「クロコダイル」のGMS（大型総合商業施設）へのコーナー展開が好調に推移しています。特に今年度は「クロコダイル・レディス」の开店を加速させたため、全国のコーナー数はメンズとレディスを合わせて200店舗を超えました。



「クロコダイル」40周年

ワニのマークでお馴染みの「クロコダイル」は、国内販売を始めて今年で40周年を迎えました。この間、胸の刺繍は信頼の証として多くの人に愛され続け、いま尚、新たなファンを増やしています。



- (左) 俳優 内藤剛志氏を起用した40周年キャンペーンポスター。
 (右) ワニのマークは信頼の証。ポロシャツには定評があります。

「エーグル」150周年

1853年、フランスに誕生した「エーグル」ブランドは今年で150周年を迎え、本国フランスはもとより日本国内においてもキャンペーンを開催しました。



(左上) 元エルメスのチーフデザイナー、エリック・ベルジェール氏とのコラボレーションも実現しました。

(右上) エーグルの名品の復刻版を発売いたしました。

150周年用ポスター。乗馬用ラバーブーツが有名。

| | |
|------------------|---------|
| 取締役会長 (代表取締役) | 盤 若 富美子 |
| 取締役社長 (代表取締役) | 坂 井 隆 |
| 専務取締役 | 櫻 井 紘 哉 |
| 常務取締役 | 内 山 公 司 |
| 常務取締役 | 盤 若 智 基 |
| 取 締 役 | 加 宮 義 人 |
| 取 締 役 | 名 取 勇 |
| 取 締 役 | 樋 口 敏 昭 |
| 常勤監査役 | 檜 垣 勝 宏 |
| 監 査 役 | 門 馬 寛 巳 |
| 監 査 役 | 田 中 聰 |

| | |
|----------------|--|
| 設立 | 昭和22年6月16日 |
| 資本金 | 4,917,652,803円 |
| 主要な事業内容 | 当社は、メンズカジュアルウェア中心のアパレル企業として、カットソーニット、アウター、布帛シャツ、セーター、ボトム、その他小物雑貨等の製造・販売並びにこれらに関連した事業を営んでおります。 |
| 主な事業所 | 大 阪 本 社 大阪市中央区博労町二丁目3番9号 東 京 本 社 東京都大田区平和島五丁目1番1号 福岡営業所 福岡市博多区博多駅東三丁目11番28号 和歌山工場 和歌山県那賀郡桃山町市場472番地 |
| 従業員数 | 男性 202名 女性 46名 合計 248名 (注)従業員数には子会社への出向者 31名は含まれておりません。また、上記のほか臨時雇用者 576名がおります。 |

当社の物流拠点

ヤマトファッションサービス株式会社 /

東大阪市森河内西一丁目8番1号

